

| | |
|----|----------------------|
| 公表 | 児童発達支援事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------------|

| | | | | |
|----------------|---------------------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス にじいろハウス | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 7日 | | ～ | 2026年 2月 6日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 7人 | (回答者数) | 7人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 7日 | | ～ | 2026年 2月 6日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6人 | (回答者数) | 6人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 20日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | ○ガイドラインに沿った項目の設定をしたうえで、児童を客観的に分析し、児童と保護者のニーズにあった個別支援計画が作成されていると評価されている。また、その個別支援計画に沿った支援を行っていると評価いただいている。 | ○日々の記録を踏まえて、面談やモニタリング等を実施し、職員全員で共通理解のもと個別支援計画を作成している。 ○個別療育では、児発管が同席し、担当制にすることでより細やかな支援を行なっている。 | ○これまでの取組を継続すると共に、朝礼での前日の振り返り、個々の相談共有の時間を大切に等、より良い支援に繋げていく。 |
| 2 | ○プログラムの計画、実施、評価、改善を行い、PDCAサイクルを大切にしている。 | ○個別療育は児童の興味関心や特性に沿った内容、グループ療育はその日のメンバー構成や年齢差を考慮しながらプログラムを作成している。 ○児童の個別ファイルを作成したことで、どの職員も計画、実施、評価、改善の内容を確認できるようにしている。 | ○更に活発に職員から意見が出るような雰囲気や環境作りを進めていく。 |
| 3 | ○職員全員が児童の安全について気を配っている。 ○個別療育は3F、グループ療育は5階と用途によって部屋を使い分けている。 | ○ベビーゲートの開閉や施錠には日頃から気を付けると共に、児童にもエレベーター使用時や送迎車内での約束事などを指導している。 ○3Fは着席して取り組める環境、5Fは身体を思い切り動かせる環境を整えている。また写真やイラストなどの視覚支援によって、児童に分かりやすく構造化された環境になるように工夫している。 | ○日々環境設定を見直し、必要があれば改善していけるようにしていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-------------------|---|
| 1 | ○同法人の保育園との交流は行なったものの、近隣の園や地域の中で他の子どもと活動する機会はなかった。 | ○地域の情報収集が少なかった。 | ○職員ひとり一人が地域に目を向けたり、積極的に情報収集することで、他の子どもと関わる機会を作っていく。また淀川区地域自立支援協議会こども支援部会へ継続的に参加することで、他事業所との横の繋がりを作ったり、取組や工夫等を参考にしていく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス にじいるハウス

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 2026年 2月 7日 回収数 7人

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|----|-------|-----|-------|-----|------------|
| | | はい | どちらとも | いいえ | わからない | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 5 | 1 | | 1 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 6 | 1 | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 5 | 2 | | | | |
| 保護者への説明等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 7 | | | | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 7 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 4 | | | | 3 | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 7 | | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | 1 | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 1 | 1 | 1 | 4 | | |
| | 19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 7 | | | | | |
| 20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 6 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|---|------------------|--|
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | 1 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 4 | 1 | | 1 | 重複回答（はい・わからない）1名 | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | | | 3 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 5 | 1 | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 4 | | | 3 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 7 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 7 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 7 | | | | | |

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 児童発達支援・放課後等デイサービス にじいるハウス | | 公表日 | | 2026年 3月 1日 | |
|----------|--------|--|-----|---------|--|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | ○3階と5階があり広さがあること ○グループと個別のスペースが分かれているのは集中や切り替えが行いやすい | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 2 | ○写真等を用いて視覚支援を行なっている ○ベビーゲートの配置や施設など安全面の配慮を行なっている | ○活動内容で部屋が分かれているため分かりやすい一方、事務室、相談室は明確に仕切りがないため今後改善が必要 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | ○毎日の掃除に加え、ベビーゲートを用いる等安全面の配慮も行なっている ○空気清浄機や加湿器を設置している | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | | ○もう少し工夫が必要 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | ○研修の際に管理者より、PDCAサイクルの周知がなされている ○朝の打合せで前日の振り返りや個々の相談共有を行なっている。不在の職員は記録を見ることで共有している | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 1 | | ○初回なのでまだ改善には繋がっていない | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | ○毎朝、朝礼が行なわれている。参加できていない職員は日誌を見る ○日々の生活の中で意見を伝え合い業務改善は繋げている | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 2 | | ○今年度未実施だが予定あり | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | | ○職員研修を増やすべき | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | | ○職員間で共有し、全員がチェックできるようにしている | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | ○面談やモニタリング等、適切な段階を踏んで作成されている ○全員でチェックして、共通理解のもと作成している | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | ○作成後、回覧にて周知している | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | 3 | ○個別課題時の様子やケア記録を残している | ○標準化されたツールを使った評価が分からないので共有したい | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | ○職員で意見を出し合って固定化しないようにはしている ○季節の行事を取り入れている | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 1 | ○朝礼に間に合わない職員は、打合せに参加していない為、各自業務日報を確認する | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 2 | ○打合せは行なわれていないが、記録にて共有している。今後、共有が必要なものは朝礼に取り上げてもらうようにする | ○時間が取れない時は、朝礼で前日の振り返りをしているが、非常勤の職員は参加出来ないため、当日記録を残したり、職員間で意見を共有しておく |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | ○個別活動で、同じ環境に児発管が同席出来るのが良い | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | ○担当制でより細やかな支援が出来る | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 3 | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | ○法人が運営する園と合同で行事を行うことがある。双方の職員が行き来することで、子どもの様子を共有している。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | | 6 | | ○対象者が居ない為 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。 | 3 | 3 | ○部会に参加している | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 2 | ○近隣に保育所等が少ないが、連携している保育園と遠足に行った ○姉妹園との交流は、行事の際に持っている | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | ○毎回HUGで記録に残し伝えている | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 3 | ○サポートブックの研修を行なった | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--------------------------------|---|
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | | | ○フルタイム勤務の保護者達が参加可能な交流の形態を模索中 ○保護者から声が上がった際には、計画してしくと良いかもしれない |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 4 | ○毎月開放日を設定し、地域の親子が利用できる機会を作っている | ○開放日を広く周知してもらえるように、宣伝方法や期間の見直し等、工夫を行う |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 2 | | ○策定しているが、周知に関しては課題が残る |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 4 | 2 | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 2 | ○現在アレルギー対応の子さんがいないため | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 1 | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 3 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | | 6 | ○組織的な決定、説明の有無について把握していない | ○早急に職員で話し合いの時間を設け、全員が共通理解した上で、利用者に説明、児童発達支援計画に記載する |